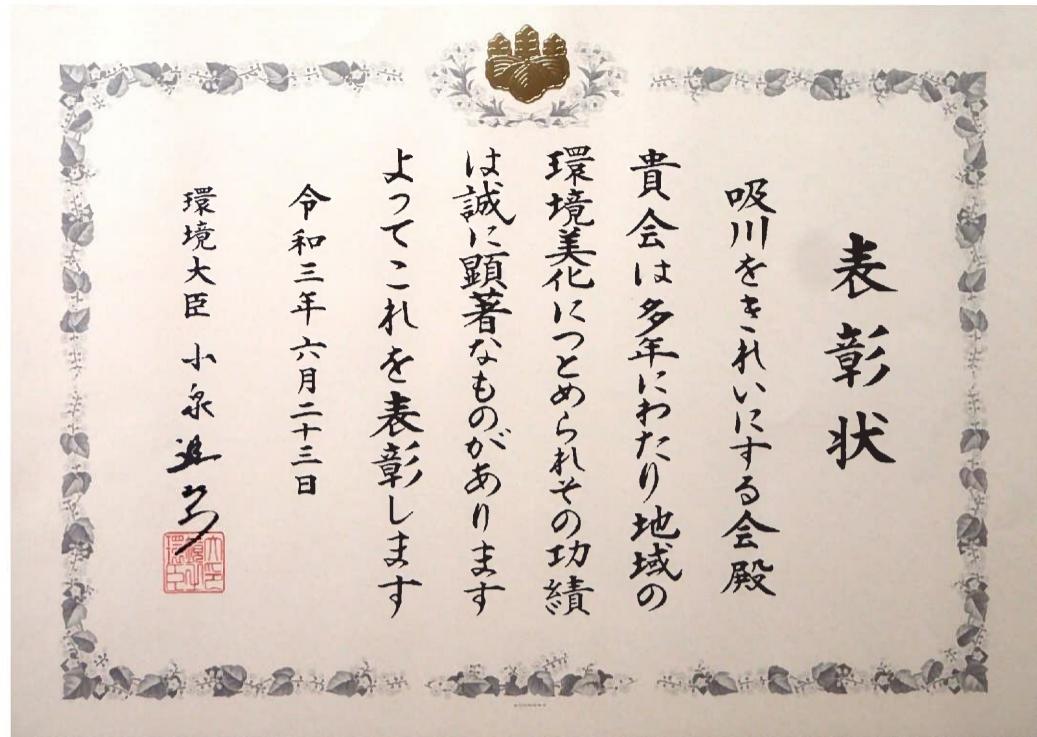


吸川をきれいにする会

住民と行政が連携して、「子供達が安心して遊べる吸川」をつくる目的で設立しました。

※環境大臣から表彰状を頂きました。



受賞者の皆様へ

この度は、「環境保全功労者表彰」、「地域環境保全功労者表彰」及び「地域環境美化功績者表彰」を受賞されましたこと、心からお慶び申し上げます。今回、感染症拡大防止の観点から、表彰式に代えて郵送によるお祝いとさせていただいくことについて、御理解を賜ればと存じます。

受賞者の皆様におかれましては、永きにわたり、各地で環境保全のための普及啓発や学術研究、環境美化等の様々な活動に尽力してこられました。環境大臣として、皆様のこれまでの御功績に深く感謝申し上げるとともに、心から敬意を表します。

日本は 2050 年カーボンニュートラルの実現、さらに、その途中となる 2030 年の温室効果ガス 46% 削減と、50% の高みに向かう挑戦を続けることを宣言しました。

脱炭素社会の実現のためには、この 10 年が勝負であり、皆様がそれぞれの地域で実践されているような、次世代や地球環境を守るために取組を広げて行くことが不可欠です。

今後とも、皆様方の取組が更に発展していくことを期待し、また、皆様の益々の御活躍を祈念しまして、私からのお祝いの御挨拶とさせていただきます。

令和 3 年 6 月吉日

環境大臣

小泉進之助

岩手日日

令和 3 年 (2021) 10 月 14 日 (木曜日)



岩手日日

令和 3 年 (2021) 10 月 14 日 (木曜日)

一関市の「吸川をきれいにする会」(佐々木良勝会長)と桜町中学校情報科部員 13 人と同会会員 5 人が、周辺で実施した市内を流れ吸川の清掃と水生生物調査を通して地元の河川環境理解を深めた。調査を負う人たちは「生き物がいた割合も 2 年の木村秀穂さん(13)と五十嵐結人さんは「生き物がいた割合などをみるながらモクズガニやナマズ、アブラハヤなどの水生生物を捕獲した」と語った。調査を始めた頃は「生き物がいた割合が少なかったが、調査を進めるにつれて生き物が見えた」と笑顔を見せた。同部は主に資格取得やタクシング練習などのパソコン学習を取り組んでいるが、活動の一環として吸川の水を容器に詰めて持ち帰り、後日水質調査も行っている。同日は水生生物と共に吸川の水を採取して分析した上で 2008 年ごろから取り続いているデータに追加する予定という。

会報 No.61

令和 3 年 10 月 事務局発行

事務局 岩手県一関市
ホームページ <http://www.iwateiwei.com/suikawa/>
e-mail suikawa@iwateiwei.com

※ 2021 吸川探検隊を開催しました！



★捕獲生物の一部を紹介



モクズガニ



ナマズ



ブラックバス



カマツカ



→ 岩手日日新聞の掲載記事

★解散会場は一ノ関駅東口付近↓

